

すわん君が出張した日



平塚市医師会 塩之入 太

日本循環器学会は禁煙啓発キャラクターとして、すわん君を擁している。

学会員として認知はしていたが、出会う機会は逸していた。

さて、工場の健保診療所で勤務していると、さまざまな用件も舞い込んでくる。

近隣の皆様に工場の環境対策を知って頂くための公開日が毎秋にあり、迷子や救護の係を仰せつかっている。

しかし、実際の所、そのような出番は無いのが幸いであり、出待ちのお茶挽きが長い。

学会のホームページに貸出要綱があり、産業医の活動として禁煙啓発を行うならば、大きな差し障りは無かろうと、借り受けを申請した。ただし、条件の一つに「声を出さない」とされ、「禁煙！頑張ろう！」と叫ぶシュプレヒコールは論外である。聞かれても「僕すわん君」とすら答えられない。

借受の費用については、予算は付けず、私弁とした。キャンペーンのノベルティーを十個程と、着払いで来て・元払いで返却する往復の送料とで、一万八千円ほどである。費用というか、実際の活動風景を写真におさめて、啓発活動のための公式ツイッターの材料に役立ってるのが、恩返しとなっている。

土曜の行事に先立って、月曜には着ぐるみが届いた。

中に入るのは「自分」である。

ただし、着付に背中を閉めて貰うのに手伝いをお願いする必要はある。

着てみると確かに視野が狭い、加齢変性黄斑症や緑内障の疑似をする視覚障害体験教材があるが、あのような感じで、子供が寄ってきては気づき難い。音も頭部の中にさらにヘルメット様の頭で支える治具があり、耳が塞がり聞こえない。着ぐるみというのは日頃接する患者さんの高齢者疑似体験教材としても一度はお試しの価値があるかもしれない。

折角借りた、すわん君だが、十時の開場にあわせて開会式前後三十分着た所で、傘が必要な雨となり、アスファルトも濡れるようになり、借り物に無理はさせられず、そこまでの登場となった。

ノベルティーのタオルハンカチは場内スタンプリリーの景品として提供した。そこでも、禁煙マークに目がとまれば少しの啓発には役立つだろう。

短い着用時間でも、20人ばかりの子供らと握手し、10回くらい皆様の携帯電話のフ



レームにおさまり、最後には出村市議の撮影で、平塚市の落合市長ともツーショットを決めた。

もしかしたら何の着ぐるみか気づかないままかもしれないが、胸に付けているマークは禁煙に目玉が釘付けとなる日が来れば良いと思っている。

ちなみに工場では、飛行機の化粧室を作っている。

最近では機内全面禁煙だが、それをおしてトイレで喫煙して客室乗務員が旅客と揉め、予定を変更した着陸を余儀なくされる事案もある。工場には無理を言って、生産ラインでの写真も仕込ませて頂いた。

これらの写真はすわん君の公式ツイッターに掲載されている。

「トイレも禁煙だよ」という事も含めて、皆様のリツイートとお願いの次第である。

皆様の医療機関で、禁煙啓発の熱意があるところには、すわん君は出張してくれるそうなので、講演会などの機会に、登場の場を設けてみては如何だろうか？

参照ページ

日本循環器学会禁煙推進委員会

<http://www.j-circ.or.jp/kinen/suwankun/index.htm>

すわん君公式ツイッター

https://twitter.com/suwankun_kin_en?lang=ja

すわん君の自己紹介

「しゅわん（すわん）国からやって来たしゅわん（すわん）君でしゅわん。体に悪い煙をなくすため、日本循環器学会の禁煙推進活動をお手伝いしてしましゅわん！」